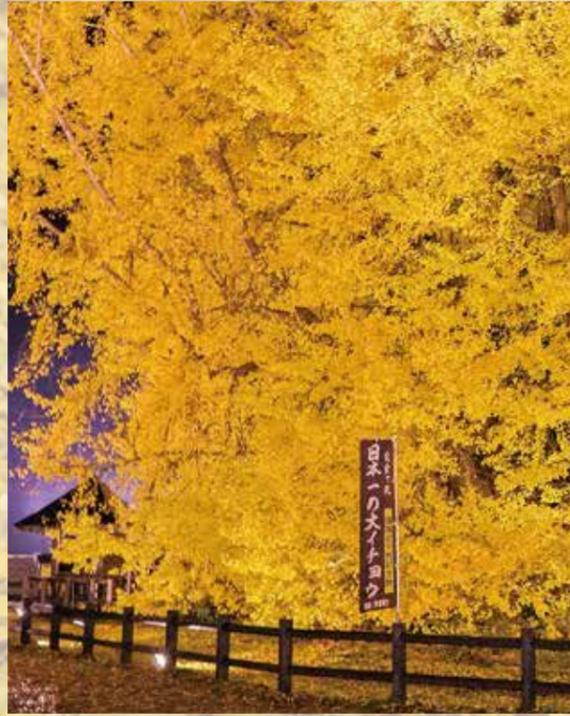
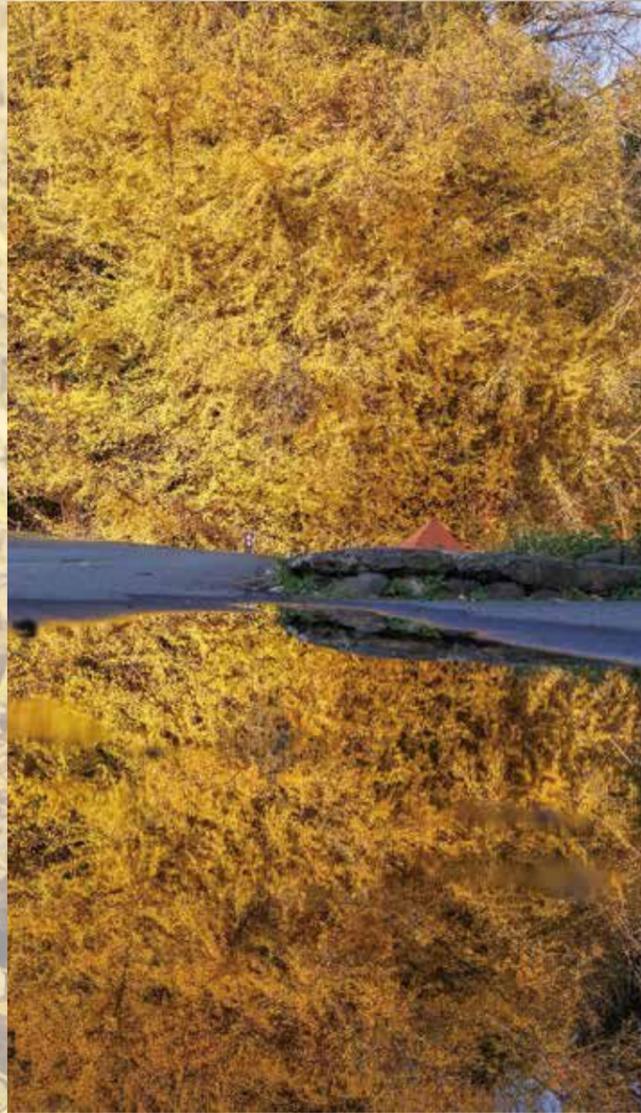


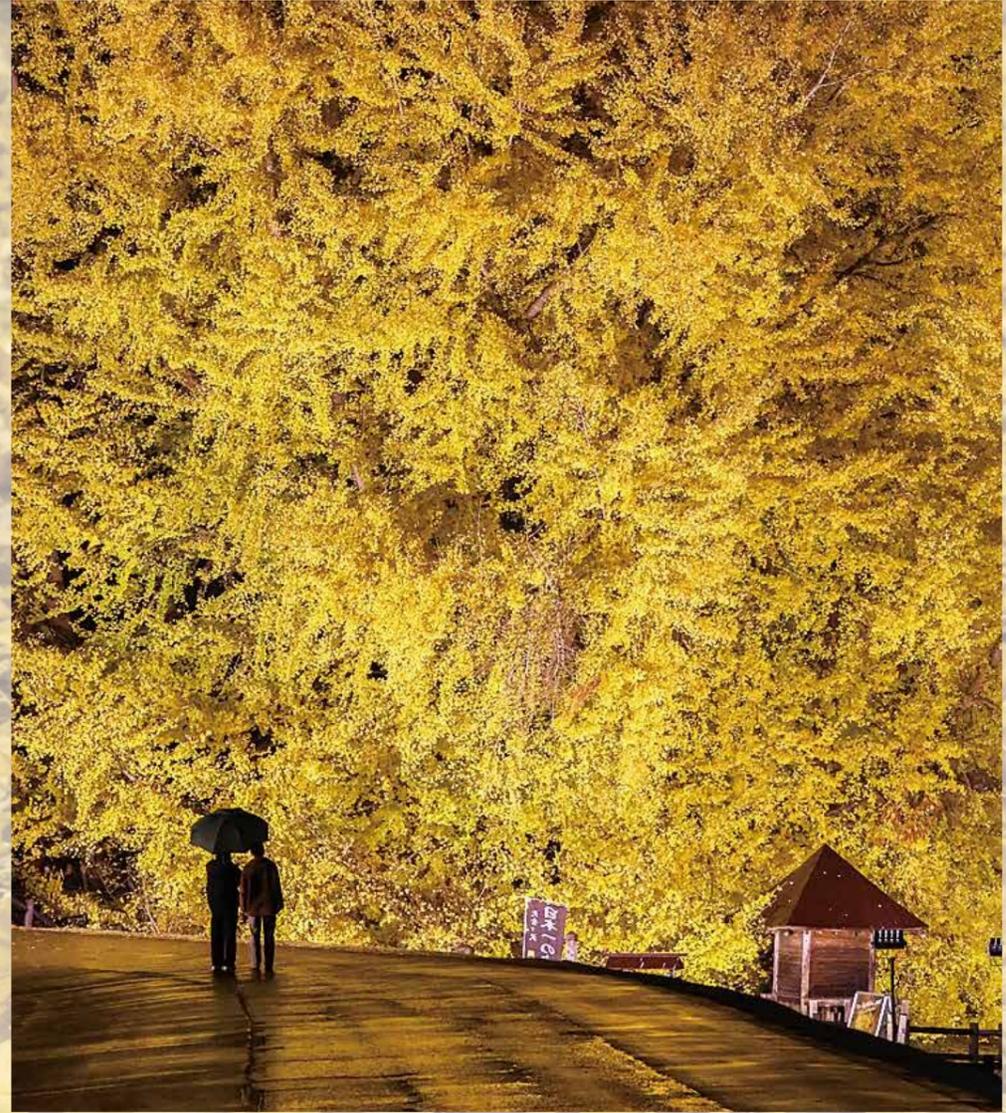
晩秋の暗闇に黄金の輝き 日本一の大イチョウが夜を染める



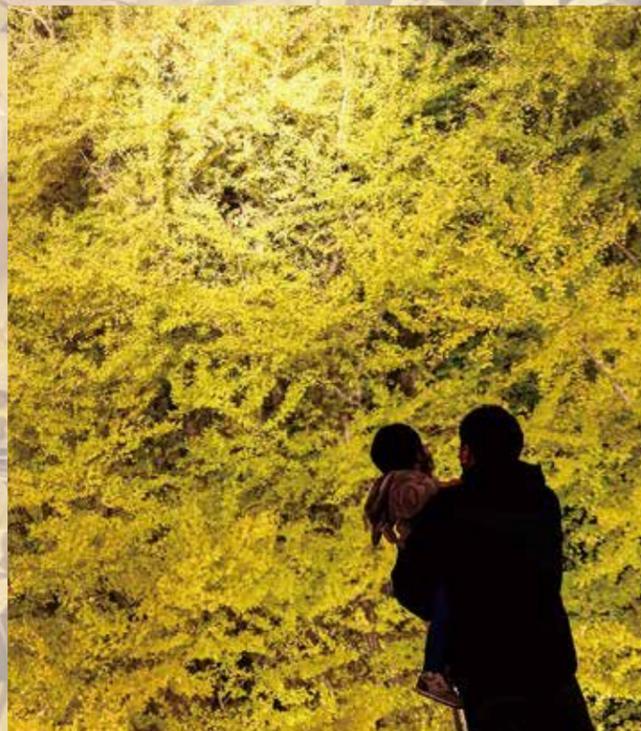
夜空に輝く大イチョウ



水面に映るビッグイエロー



黄色いじゅうたん「垂乳根」の由来となった気根



ビッグイエローを見上げる親子



カボチャの特製「幸せの黄色いスープ」を楽しむ子どもたち



点灯式後に行われた記念撮影



11月12日から11月30日にかけて、北金ヶ沢にある日本一の大イチョウのライトアップが行われ、今年も神秘的な美しさと圧倒的な大きさとで来場者を魅了しました。

北金ヶ沢の大イチョウは、幹回り約22m、樹高約31m、樹齢1,000年を超えており、国の天然記念物に指定されています。垂乳根の公孫樹とも呼ばれており、乳房のように垂れ下がる気根に触れると母乳の出が良くなる言い伝えられ、地域に親しまれています。

ライトアップ初日の12日は点灯式が行われ、修道小学校の児童16人が参加しました。全員でカウントダウンを行

い、スイッチを押すとライトアップされたビッグイエローが出現しました。点灯式に参加した山崎龍晴くん(2年生)は「ビッグイエローが輝いてきれいだった」とビッグイエローを見上げていました。

点灯式が行われた12日時点では、1〜2割程度の色づきでしたが、パツとライトに灯された大イチョウは幻想的で雄大な姿を見せてくれました。

11月22日から24日の3連休には、全体が黄色く色づき見ごろを迎えました。「ビッグイエロー」は、今年も大手旅行会社の紅葉ランキングで1位に選ばれており、期間中多くの方々が訪れ、日本一の大イチョウを楽しんでいました。